

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

小学5年生・特別活動（学級活動）

目標・人権教育のねらい

- ・人権とは何かを知り、その大切さについて考える。
- ・人それぞれの多様な考え方があることに気づく。

実施した内容

- ・権利の熱気球の説明を聞く。
- ・降ろす権利の順番を考える。
- ・権利を五つ残すなら、何を残すか班で話し合いまとめる。
- ・全体で交流する。
- ・本時を振り返り、感想を書く。（1時間）

工夫した点

- ・権利について考える場面で、理由も添えて交流させることで、人との違いを実感し、どれを優先するかの話し合い通して、考えをより深めさせる。
- ・日常生活でも学習したことを生かして、お互いの考えを認め合いながら過ごさせるようにする。

他教科との
関連

特別の教科 道徳の指導内容にある「よりよい学校生活・集団生活の充実」（内容項目C）の学習をした時、特別活動（学級活動）で学習した本取組みのことを振り返らせ、指導を行った。

事業成果

【知識的側面】（94.6% → 95.4%）

- ・すべての人が大切にされなくてはならないと思いますか。
- ・友だちと考えや気持ちを伝え合うことは大切ですか。
- ・様々な考えをもつ人々と暮らしていくことを知っていますか。

【価値・態度的側面】（79.7% → 85.2%）

- ・友だちと仲良くなれるよう自分から行動していますか。
- ・様々な価値観を大切にしようとする態度を身につけていますか。
- ・よりよい仲間づくりのために自分から進んで参加していますか。

【技能的側面】（81.3% → 84.3%）

- ・相手の立場に立って物事を考えることがありますか。
- ・よい仲間をつくるため、多くの友だちと協力して行動することができますか。
- ・自分と異なる考えを持つ友だちに対しても関わるすることができますか。

(児童の感想)

- ・みんな大事にしたい権利が違うのだということがわかった。
- ・きれいな空気をすう権利を最後のほうにしている人が多く、生きていくうえで大切なことを最後まで残している人が多いと思った。
- ・自分は一番大事だと思っていた権利をはじめに降ろす人がいてびっくりした。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

女性

対象学年・
取り扱った教科等

小学1年生・生活科

目標・人権教育のねらい

- ・男女で身体づくりは違っていても、平等であることを理解する。
- ・「男の子だから」「女の子だから」という性別に関係なく、一人ひとりの個性を尊重する。

実施した内容

- ・パズルの中から個性を表す言葉を見つけ出し、友だちのよい個性や自分になりたい個性を考える。
(1時間)
- ・「プライベートゾーン」の学習を通して、一人ひとりにとって大切なからだであることを理解する。
(1時間)

工夫した点

- ・ワークシートに書き込む活動を取り入れることで、低学年の児童でも興味・関心を持つことができるように工夫した。
- ・岸和田市教育委員会が作成したリーフレットを活用し、性別に関わりなく互いの人権を尊重できるよう授業を構成した。

他教科との
関連

- ・特別の教科道徳の指導内容にある「個性の伸長」(内容項目A)「生命の尊さ」(内容項目D)を学習した時、生活科の時間に学習したことを振り返らせ指導を行った。

事業成果

【知識的側面】(60.8% → 62.0%)

- ・女性はこの家事、男性はこの仕事といった性別による役割があると思いますか。
- ・性別によって得をしたり損をしたりすることは良くないことだと思いますか。
- ・どのような男女差別があるのかを知ることは大切なことだと思いますか。

【価値・態度的側面】(56.5% → 61.3%)

- ・性別に関わらず協力し合うことは大切だと思いますか。
- ・性別に関わらず人の意見や考えを大切にしていますか。
- ・性別にこだわらず個性や能力を発揮し、自分らしく活動できることはすばらしいと思いますか。

【技能的側面】(68.7% → 74.5%)

- ・男女平等な考え方が周りに広がることを願っていますか。
- ・性別に関わることなく協力することができますか。
- ・男女がともに過ごしやすいようになるためにはどのようにすればいいか考えることができますか。

(児童の様子)

- ・「楽しい」「もっとやりたい」「おもしろい」という発言が聞かれた。
- ・個性の言葉探しの時、「〇〇さんはやさしい」といった友達のことを考える意見があった。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

高齢者

対象学年・
取り扱った教科等

小学6年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 装具を用いて疑似体験を行い、高齢者の日常生活における困難さを理解する。
- ・ 高齢者が、どんな生活場面で困るのかを考える。
- ・ 高齢者に対して思いやりの心を持ち、親切にする態度を養う。

実施した内容

- ・ 身近にいる高齢者のことを思い出し、日常生活での困り感を考える。（1時間）
- ・ 歩行や道具の扱いなどの疑似体験を通して、高齢者への理解を深める。（1時間）
- ・ 疑似体験を通して学んだことから、自分たちにできることを考え、社会にあるユニバーサルデザインされた施設があることを知る。（1時間）

工夫した点

- ・ グループで、装具をつける・介助する・観察するといった3つの役割分担をし、疑似体験をすることで、高齢者の思いや高齢者を助ける立場、高齢者が快適に生活できる社会の観点で意見を交流できるようにした。

他教科との
関連

- ・ 社会科の政治の学習のうち「日本国憲法（基本的人権の尊重）」を学習した時のことを想起させ、総合的な学習の時間ではより具体的に自分ができることを考えるための指導を行った。

事業成果

【知識的側面】（81.8% → 86.1%）

- ・ 日本やあなたのすんでいるところにたくさん的高齢者が住んでいることを知っていますか。
- ・ 高齢者が困っていることについて知っていますか。
- ・ 高齢者について学ぶことは自分の役に立つと思いますか。

【価値・態度的側面】（80.6% → 85.1%）

- ・ 高齢者問題について調べてみたいことはありますか。
- ・ 高齢者のことを大切にしようとする気持ちはありますか。
- ・ 高齢者のために自分ができることはあると思いますか。

【技能的側面】（78.9% → 85.5%）

- ・ 高齢者の人の気持ちを考えることはありますか。
- ・ 高齢者が困っているとき、助けてあげたいですか。
- ・ 高齢者の立場に立って物事を考えることがありますか。

(児童の感想)

- ・ お年寄りの方が困っていたら、自分にできることを探して手助けをする。
- ・ ペットボトルを開けるときに、強くしまっていると感じて困った。階段を下る時、前かがみで倒れそうだった。
- ・ お年寄りの人は足腰が弱いから、お年寄りの役に立つものがあっていいと思った。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

小学4年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・車いす体験を通して、身体障がい者が困っていることに気づく。
- ・介助者として車いすを操作することで、身体障がい者との関わりを考える。

実施した内容

- ・身体障がい者が困っていること、足が不自由だったら困ることについて考え、車いすの操作の方法を知る。（1時間）
- ・車いす体験を通して、身体障がい者がどんな点で困っているかやどのような道が危険かに気づき、自分たちにできることを考える。（1時間）

工夫した点

- ・段差や曲がり角などの模擬コースを設定する。
- ・介助者なしの状況で自力で車いすの操作を体験するようにした。
- ・社会福祉協議会より車いす14台を借用することで、どの児童にも十分な体験の時間を確保した。

他教科との
関連

- ・特別の教科 道徳の指導内容にある「親切・思いやり」（内容項目B）で学習したことを想起させ、総合的な学習の時間ではより身体障がい者に対して自分ができることを考えるための指導を行った。

事業成果

【知識的側面】（87.8% → 89.0%）

- ・いろいろな障がいがあることを知っていますか。
- ・障がいのことについて知りたいですか。
- ・障がいについて学ぶことは自分の役に立ちますか。

【価値・態度的側面】（88.6% → 86.1%）

- ・障がいのことについて聞いてみたいことはありますか。
- ・障がいのある人のことを大切にしようとする気持ちはありますか。
- ・障がいのある人のために何をしたらいいか考えることはありますか。

【技能的側面】（88.9% → 89.5%）

- ・障がいのある人の気持ちを考えることはありますか。
- ・障がいのある人が困っているとき、助けますか。
- ・障がいのある人と一緒に協力して行動できますか。

（児童の感想）

- ・スロープを下る時、が怖かったけど、「動くよ～」と声をかけてくれたから安心した。
- ・狭い道を通る時、どういう感じで通ろうかとても悩んだ。道には自転車を止めたり、物を置いたりするのはよくないと感じた。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

小学6年生・社会科

目標・人権教育のねらい

- ・ 偏見や差別など同和問題について正しい認識を持つ。
- ・ 人権獲得に向けて立ち上がってきた人々の歴史を知り、同和問題を自分たちの課題としてとらえ、解決に向けて考え行動する力を育む。

実施した内容

- ・ 江戸幕府が身分制度によって百姓や町人などを支配したことを理解し、たくましく生きてきたことに気づく。(1時間)
- ・ 百姓や町人とは別に身分上厳しく差別されてきた人々をはじめ、様々な立場の人々による改革を求める動きが出てきたことを理解する。(1時間)
- ・ 民主主義への意識の高まりの中で、就職や結婚など様々な面で差別されてきた人々が全国水平社をつくり、差別をなくすために立ち上がったことを理解する。(1時間)

工夫した点

- ・ 身分制度が確立されていくなか、厳しく差別されてきた人々は、社会を支える仕事に従事しながらたくましく生きてきたことに気づくようにした。
- ・ 差別の撤廃を求めるものであった渋染一揆を取り上げ、正当な権利の主張の在り方や生きるための学問の大切さについて考えるようにした。
- ・ 日本の産業の発展にともなう国民の生活の変化と民主主義への意識の高まりについて考えるようにした。

他教科との
関連

- ・ 特別の教科道徳の指導内容にある「公正・公平な社会」(内容項目C)の学習を振り返らせ、歴史上の問題ではなく、現在でも重要な人権課題であることを考えるための指導を行った。

事業成果

【知識的側面】(82.8% → 88.9%)

- ・ 世界には差別など様々な人権問題があることを知っていますか。
- ・ 差別をされていた(いる)人がいることを知っていますか。
- ・ 同和問題について知りたいですか。

【価値・態度的側面】(66.5% → 70.3%)

- ・ 差別や偏見のことを調べてみたいですか。
- ・ 差別を許さない態度を身につけていますか。
- ・ 差別などの人権問題を解消するために行動してみたいですか。

【技能的側面】(78.7% → 82.5%)

- ・ 自分以外の人の気持ちを考えることができますか。
- ・ 困っている人を助けますか。
- ・ すべての人が暮らしやすい社会にするため、将来、行動してみたいですか。

(児童の様子)

- ・ 江戸時代からの差別の実態と、その中でたくましく生きてきた人々の歴史を学ぶことによって、それぞれの時代における、不合理さを知り、自分たちの心の持ち方と行動で差別を減らし、なくすことができることに気づくことができました。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

小学6年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・何気ない普段の言葉や態度の中に、無意識に外国にルーツのある人たちを傷つけ排除する可能性のある言動「マイクロアグレッション」があることに気づく。
- ・外国にルーツのある人たちがなぜ傷つくのか、その背景にどんな社会の課題があるのかについて知るきっかけになるようにする。
- ・自分たちのまわりで「マイクロアグレッション」がないか考え、そんな場面にであったときにどう伝え、どんな関係をつくりたいかを考える。

実施した内容

- ・「マイクロアグレッション」について知り、外国にルーツのある人たちの思いを考える。（1時間）
- ・自分の日常生活の中での「マイクロアグレッション」について振り返り、自分にできることを考える。（1時間）

工夫した点

- ・「マイクロアグレッション」を知るために、視覚支援として絵カードを提示する。
- ・「マイクロアグレッション」について自分ならどうするかを発表することを通して、外国にルーツのある人に対して、気を付けなければならないことや、自分の心の持ち方について考えるようにした。

他教科との
関連

- ・特別の教科 道徳の指導内容にある「相互理解・寛容」（内容項目B）「国際理解・国際親善」（内容項目C）を学習した時、総合的な学習の時間に学習したことを振り返るための指導を行った。

事業成果

【知識的側面】（75.0% → 85.3%）

- ・日本とちがう国のあいさつや遊びを知っていますか。
- ・外国のことを知りたいですか。
- ・外国の人と友だちになってみたいですか。

【価値・態度的側面】（56.9% → 74.7%）

- ・外国の人に聞いてみたいことはありますか。
- ・外国の人と仲良くなるために自分から行動しますか。
- ・外国の人に日本やあなたの住んでいるところのことを知ってもらいたいですか。

【技能的側面】（85.0% → 87.7%）

- ・外国の人の気持ちを考えることができますか。
- ・困っている外国の人を助けますか。
- ・外国の人と協力して行動できますか。

(児童の感想)

- ・その国の出身だからと言って、みんな同じ（性格・得意なこと・考え方）ではない。
- ・相手がどういう気持ちでいるのか、考えながら話すようにする。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

小学5年生・特別活動（学級活動）

目標・人権教育のねらい

- ・違いを認め合い、互いの人権を大切にしたい関わりについて考える。
- ・インターネットを使ったコミュニケーションの特徴を知り、SNSを利用する場合、互いの人権を傷つけない態度や行動について考える。

実施した内容

- ・古典「鶯宿梅（おうしゅくばい）」を通して、互いを認め合うことの大切さを知る。（1時間）
- ・インターネット上の会話や普段の生活の中で他者とコミュニケーションをとる場合、何が大切なのかを考える。（1時間）

工夫した点

- ・古典芸能の歌舞伎を題材とすることで、いじめなどの人権侵害事象について客観的にとらえ児童自身の考えを発表させるようにした。
- ・人権を尊重することは、互いを認め合うことが大切であると気づくようにした。
- ・岸和田市人権擁護委員会の方に参加いただき、授業を実施した。

他教科との
関連

- ・特別の教科道徳の指導内容にある「公正・公平な社会」（内容項目C）の学習を振り返るための指導を行った。

事業成果

- 【知識的側面】（96.9% → 96.4%）
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
 - ・すべての人が大切にされなくてはならないと思いますか。
 - ・友だちと考えや気持ちを伝え合うことは大切だと思いますか。
- 【価値・態度的側面】（80.2% → 85.9%）
- ・いじめ問題を解消するために自分から行動できますか。
 - ・差別を許さない態度が身についていますか。
 - ・仲良くするために自分から友だちに働きかけますか。
- 【技能的側面】（83.3% → 85.0%）
- ・いやなことを言われたりされたりしている人がいたら、助けることができますか。
 - ・相手の立場に立って人と関わることがありますか。
 - ・よいクラスを作るために、友だちと協力して行動できますか。
- （児童の感想）
- ・差別やいじめ、仲間外れをしてはいけません。自分とは違って当たり前。人には個性があるから、その個性をばかにしたり、いじめをするのは違う。
 - ・誰かを傷つけてしまっているのかもしれない。そう考えていこうと思った。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

大阪府

学校名

岸和田市 城北小学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・
取り扱った教科等

小学5年生・特別の教科道徳

目標・人権教育のねらい

- ・ 4つの性「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」があることを知るとともに、一人ひとり違っていいことに気づく。
- ・ 違いを認め合い、すべての人々が「ありのままに自分らしく」生きることができる社会をつくろうとする態度を養う。

実施した内容

- ・ 性について、自分の意見を持ち、男性よりなのか、女性よりなのかなど、自分と向き合う。
- ・ 違いを認め合い、心地よく生活していける雰囲気をつくり出す大切さに気づく。（1時間）

工夫した点

- ・ 話し合いや交流を通して、お互いを知る場面をつくった。
- ・ 教員の経験談を話すことで、児童が偏見を持たないように配慮した。
- ・ 岸和田市教育委員会が作成したリーフレットを活用し、性別にかかわらず互いの人権を尊重し、個性と能力を発揮して、多様な生き方を選択できるよう授業を構成した。

他教科との
関連

- ・ 4年の体育科（保健領域）で学習した体の発育・発達について想起させ、将来の生活において直面する性に関する諸問題に対して適切な意思決定や行動選択ができるようになるための指導を行った。

事業成果

【知識的側面】（72.6% → 80.4%）

- ・ 女性が女性を好きになる、男性が男性を好きになることは、不自然だと思いますか。
- ・ 女の人とは女らしくしないといけないと思いますか。 ・ 男の人は男らしくしないといけないと思いますか。

【価値・態度的側面】（43.5% → 46.3%）

- ・ 友だちに同性愛であることを打ち明けられたら、素直に受け入れられますか。
- ・ 男の人がスカートをはいたり、お化粧をするなどしている人のことを理解することができますか。
- ・ 女の人が男性用の服を着ていたり、男性向けの髪型をしている人のことを理解することができますか。

【技能的側面】（66.9% → 70.5%）

- ・ その人の性別らしくないという理由でからかわれている友だちがいたら味方になれますか。
- ・ 体は男性だけれど心は女性、体は女性だけれど心は男性の人にはどのような悩みがあるか考えられますか。
- ・ 体と心の性が同じでない人と協力して行動できますか。

(児童の感想)

- ・ 正直、自分が男の子よりなのか女の子よりなのか迷う。女の子のことが好きだけど、男の子の中でも男の子を好きになることがあるのを初めて知った。
- ・ 見方を変えると、こんな素敵な一面があるんだということが分かった。